

歴史まちづくり活動 概要シート

ブロック名	建築士会名	支部(地域会)名
東海北陸	(公社)静岡県建築士会	
活動団体名①		代表者連絡先
静岡県ヘリテージセンターSHEC		住所
		静岡市葵区御幸町9-9
活動団体代表者名		TEL
		054-254-9381
センター長 塩見 寛		FAX
		054-273-0478
		E-mail
		honkai@shizu-shikai.com omikan@cy.tnc.ne.jp

活動名 建築士等が災害時に歴史的価値保全復旧手法を提示する活動のためのマニュアル整備と、当該活動への参加意識調査を通じたマニュアルの実用性向上

活動概要 平成25年度 歴史的風致維持向上推進等調査(国交省)

< 調査概要 > ■調査実施地域：静岡県 ■調査実施者：公益社団法人 静岡県建築士会

- 平成24年度調査において歴史まちづくりネットワークの構築手法を調査した静岡県建築士会が、災害時を想定した建築士などの専門家派遣調整、派遣後の被害状況調査、歴史的価値保全復旧手法検討及び提示のマニュアルについて、図上訓練や実際の歴史的建造物のケーススタディを通じて検討し、その活動に参加した建築士の意見からマニュアルの実用性について検証する調査を実施。
- 図上訓練(浜松市入野地区を対象)により発災から半年までの派遣要員(建築士)の行動をシミュレーションした災害等行動マニュアルの作成を通じて、歴史的建造物の歴史的価値、被害想定等を所有者へ提示し、その意向をまとめるとともに、事前復旧及び被災後復旧マニュアルの作成を通じて、行政や職人、関係機関との連携体制や所有者との関わり方についての知見をまとめた。

< 調査内容 >

■災害時調査等要員派遣マニュアルの検討

- 事前準備
 - 現況調査の実施(歴史的建造物の存在、建築士在住場所等)
 - 防災地図の作成(歴史的建造物、防災関連施設：避難施設・緊急医療施設・避難路・緊急輸送路・消火栓等、プロット)
- 図上訓練の実施
 - 発災後1週間、2週間、1ヶ月、2ヶ月、恒久対応の各段階における行動をシミュレーションし、課題等の洗い出し
 - 発災後の対応、緊急調査(応急危険度判定との連携、被災状況調査、応急措置等の調査派遣マニュアルを作成)

■建築士へのアンケート

- 建築士の参加意識
 - 歴史的建造物調査への参加意向 **65%**
 - 災害時被災状況調査への参加意向 **55%**
- 参加しない場合の理由等
 - 時間がない 58%
 - 知識がない 32%
 - 実績がない 24%
 - 興味がない 11%
- マニュアルへの反映
 - 若い年代は知識と経験の無さ、40歳代は仕事と家計費の問題、高齢年代は体力的理由から、参加が難しい
 - 一時的に余裕、経験とネットワークのある元気な60歳代の参加を促す
 - 事前の図上訓練シミュレーション、被災時調査ルート検討等の現場研修の実施
 - 都市部での職人等ネットワーク強化、都市部外は兼務できる人材の増強

◇マニュアルの実用性向上

- 行政との密な連携…応急危険度判定、住民相談窓口
- 発災から半年までの行動指針…被災調査不参加は1/4(アンケート)
- 災害時行動は充分対応可能

■歴史的価値保全復旧手法提示マニュアルの検討

- ケーススタディの実施：旅館、町家、蔵の5件
 - 所有者への提示：建物の価値、地震による被災想定、被害軽減のための現時点での改修案の提案
 - 所有者の意識の変化
 - 被害想定前後での所有者の意識に大きな変化無し
 - 被害(倒壊)は想定範囲内であることが判明
 - 事前の対応(補強工事等)は経費がかかり困難
 - 事前復旧、及び被災後の復旧のマニュアルを作成
 - 事前復旧…平常時における対応
 - 被災後復旧…被災調査→応急措置→復旧調査→手法検討の段階的な対応
 - 建物の価値を損なわない復旧、解体へと至らない措置、対応

◇マニュアルの実用性向上

- 平常時から所有者とのいい関係づくり
- 所有者に建物価値を伝える
- 被災後、維持か解体か…所有者とファーストコンタクトの重要性

■明らかにになったこと

- 歴史的建造物のデータベースを整えておくことの必要性
- WEB及び紙ベースでの行政との情報共有の必要性
- 災害時緊急調査の重要性
 - 価値ある建物の存続のために所有者との連絡手法を確立
 - 価値ある歴史的建造物が解体されないよう価値を伝える、価値を損なわない復旧手法の提示手法

■今後の課題

- 歴史的建造物に関する専門家を増やす
 - ⇒専門家研修の充実
- 専門家の地域一様な配置
 - ⇒静岡県ヘリテージセンターSHECが計画的な配置を促す
- エリア内の情報の把握
 - ⇒歴史的建造物所有者のとの良好な関係づくり
- 行政との連携
 - ⇒活動を通して協力体制の推進を図る

活動の起因 (きっかけ)	平成24年度 歴史的風致維持向上推進等調査(国交省)				
地域貢献度	○				
	大変貢献している	少し貢献している	どちらともいえない	余り貢献していない	殆ど貢献していない
活動団体②	(主たる活動団体)		(協力活動団体)		
建築士会関係度 (建築士会単独=100%)	○				
	100~80%	80~60%	60~40%	40~20%	20~0%
その他 (展望・課題)	平常時及び非常時の対応マニュアルの徹底				

※地域貢献度・建築士会関係度は独自の判断で結構です。(該当箇所)に○印)

- ・上段の活動団体名①は、建築士会名ではない活動専用の名称がある場合の名称です。
- ・下段の活動団体②は、主に活動している組織名と、共に実践している協力組織がある場合にはその名称をご記入ください。
- ・1案件につき本シート1枚で整理して頂けます様お願いします。